

令和3年9月号

今回報告の定例会は

3月
12月 6月
9月

たてやま議会だより

主な内容

議案の概要	2～5頁
一般質問	6～11頁
議会通信	12頁

未来に残したい館山の風景



仲良しのお友達と花火大会
撮影者：井田友海さん

第2回
臨時会

新型コロナウイルス関連補正予算など4件を議決

令和3年第2回臨時会は、5月17日に開催され、市長提案の議案4件の審議を行い、市内中小事業者に対し支援を行う中小企業等事業継続支援給付金4千974万1千円など、1億1千113万1千円を増額する補正予算などを可決しました。

主な議案の内容は、次のとおりです。

◇議案第32号 館山市市税条例等の一部を改正する条例の専決処分の承認について

地方税法等の一部を改正する法律が3月26日に国会において成立し、3月31日に公布されたことに伴い、館山市市税条例等を改正する必要性が生じたため、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分をしたので、議会に報告し、その承認を求めようとするものです。

◇議案第33号 令和3年度館山市一般会計補正予算（第2号）の専決処分の承認について

国による新型コロナウイルス感染症緊急経済対策に伴い、低所得のひとり親子育て世帯に対し、その実情を踏まえた生活の支援を行うための子育て世帯生活支援特別給付金で3千116万9千円を増額する補正予算を、地方自治法第179条第1項の規定により、専決処分したので、議会に報告し、その承認を求めようとするものです。

◇議案第34号 令和3年度館山市一般会計補正予算（第3号）

歳入歳出予算の補正として、歳入歳出それぞれ1億1千113万1千円を追加し、総額214億913万9千円としようとするものです。

◇議案第35号 館山市監査委員の選任について

監査委員に新たに、本橋亮一議員を選任しようとするものです。

原案
可決

原案
可決

6月定例会

補正予算のほか

ジビエ加工処理施設条例などを議決

令和3年6月定例会は6月10日に招集され、6月29日までの20日間の会期で開催し、市長提案の専決処分の承認1件、条例議案4件、予算議案2件、人事案件1件を審議しました。

そのうち議案5件と請願2件については、所管する常任委員会に審査を付託し、最終日に各委員会の審査結果の報告を経て、追加議案として提案された補正予算、人事案件とともに審議を行い、慎重審議の結果、原案どおり可決しました。主な議案の内容は次のとおりです。

◇議案第36号 令和3年度館山市一般会計補正予算（第4号）の専決処分の承認について

損害賠償請求訴訟の控訴審に関して、館山市が行うべき書面の作成及び法廷における弁論などを行うため、弁護士に訴訟代理人を委任するための訴訟代理人報酬で220万円を増額する補正予算を、5月27日に専決

処分したので、議会に報告し、その承認を求めようとするものです。

問 第一審でかかった費用の総額と内訳を伺います。

答 弁護士へ訴訟代理人を委任した費用で432万円、裁判所への出廷やヒアリング等の調査に係る日当として92万7千円、合計524万7千円です。

案号
第36号
議第36号
令和3年度館山市一般会計補正
予算（第4号）の専決処分の承認

【反対討論・室 厚美議員】

裁判継続より前に、和解に向けた努力をすべきという考えから反対します。

【賛成討論・石井敏宏議員】

控訴されたものに対する訴訟費用なので、金額が妥当なものであれば賛成せざるを得ないと考えるので、賛成します。

常任委員会

所管する部門の事務に関する調査や、付託を受けた議案・請願などを審査します。

総務

委員長 三 祐三
副委員長 一 聖一
委員 み 之 滋重
 と 敬 信
 ひ と 龍 井
 木 石 井 龍 崎 石 井

総務委員会には2件の議案が付託され、慎重審議の結果、全員一致をもって原案どおり可決すべきと決しました。主な議案の内容と質疑応答等は、次のとおりです。

◇議案第37号 館山市手数料条例の一部を改正する条例の制定について

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律が改正され、個人番号カードの再交付に伴う手数料は、地方公共団体情報システム機構からの委託に基づき市において徴収することに伴い、市の手数料条例の規定が不要となることから、個人番号カードの再交付に係る手数料の規定を削除するほか所要の改正をしようとするものです。

問 直近の館山市の個人番号カードの取得数と取得率はどれくらいですか。

答 令和3年6月1日現在、



総務委員会による審議

交付枚数は1万5千557枚、交付率は33・7%です。

◇議案第41号 令和3年度館山市一般会計補正予算（第5号）

歳入歳出予算の補正として、歳入歳出それぞれ5億7千686万5千円を追加し、総額219億8千82

0万4千円としようとするものです。

問 地域おこし協力隊員が2名である理由を伺います。

答 まちぐるみでワーケーションを推進していくため

には、市内の事業者のネットワーク作りによる受入態勢の充実と都心の企業等に対しての営業活動の両輪で実施することが重要であると考えているからです。

文教

委員長 子 順子
副委員長 浩 浩宏
委員 孝 正一
 一 敏正
 順 子 浩 孝 正 一
 木 田 太 田 倉 田 倉 石 井 森 木

文教民生委員会には2件の議案と2件の請願が付託され、慎重審議の結果、議案は全員一致をもって原案どおり可決すべきと決しました。請願第9号は賛成多数をもって、請願第10号は全員一致をもって採択されました。主な議案と請願の内容と質疑応答等は次のとおりです。

◇議案第38号 館山市公民館条例の一部を改正する条例の制定について

新型コロナウイルス感染症への対応や災害発生時の対応など、地域医療機関等との一層の連携強化を図るため、館山市中央公民館の第3集会室を、公益社団法人安房医師会の事務局として使用することができるよう修正しようとするものです。

また、現在、館山市教育支援センターとして使用している第3講習室について

◇議案第39号 館山市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

第8期介護保険事業計画に基づき、令和3年度から令和5年度までの第1号被保険者の保険料率を定めようとするものです。

問 基金残高の見直しはどうか伺います。

答 介護給付費準備基金の残高は、令和2年度末で約6億円です。今回の計画期間で約2億8千400万円を活用する計画のため、最終年度の令和5年度末には約3億1千600万円となりますが、この推計については次の計画も見越して厳しく見積もっています。

問 これまでの事務所より狭いように感じられるが大丈夫でしょうか。

答 安房医師会事務局との協議により、現場を見ただけで決定しているので問題ないと考えています。

問 公共性の高さから使用料を無料にすべきではないですか。

答 安房医師会との協議により、現在のところ有償での貸出を予定しています。



文教民生委員会による審議

◇請願第9号 「義務教育費国費負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書

討論 補助金ではなく地方交付税に切り替えて、その算定の根拠に給与という形で入れることが良いのではないかと考えるので反対する、との討論がありました。また、教育を保障する観点から、制度は必要不可欠かと思う。国の負担を下げた場合、義務教育の水準に格差が生じることも懸念さ

れるので賛成する、との討論がありました。

◇請願第10号 「国における2022年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書

討論 様々な教育課題は教育予算を十分に確保することにより解決されるものが多いとあるという考えには共感するので賛成する、との討論がありました。

建設経済

委員長 孝夫 美昇章一
副委員長 秀徳 厚光 亮
委員 川谷 望月 山橋
瀬能 長谷 室 望秋 本

建設経済委員会には1件の議案が付託され、慎重審議の結果、全員一致をもって原案どおり可決すべきと決しました。主な議案の内容と質疑応答等はこちらのとおりです。

◇議案第40号 館山市ジビエ加工処理施設の設置及び管理に関する条例の制定について

食のまちづくりの一環として整備を進める館山市ジビエ加工処理施設について、当該施設の設置及び管理に関する条例を制定しようとするものです。

問 捕獲状況により食肉では扱えないような状態の場合はその使用料はどうなりますか。

答 使用料については徴収しない考えです。ただしそういう状態でも活用できるものは有効活用します。問 市民と市民以外で使用料の差はありますか。



建設経済委員会による審議

追加議案

6月定例会の最終日には、各委員会に付託した議案に加え、補正予算1件、人事案件1件について審議し、原案どおり可決しました。

◇議案第42号 令和3年度館山市一般会計補正予算(第6号)

新型コロナウイルス感

答 館山市の捕獲従事者登録をしている方で、イノシシ等は市内で捕獲されたことを条件に付しているもので、使用料の差はつけていません。

願号 請第9号 討論

義務教育費国費負担制度の堅持

【反対討論・石井敏宏議員】

教育の充実という目指すところは同じだが、格差縮小を目指すなら、国庫補助金ではなく、同額を地方交付税にふりかえたほうが有効であり、また制度として複雑ではないと考えるので、反対します。

【賛成討論・太田 浩議員】

義務教育の基礎作りは国の義務であり、そのために設けられたのが義務教育費国庫負担制度です。また交付税にした場合は、財政力の弱い自治体では教育予算として担保されるには限らず、市町村間で教育格差が生じることが危惧されるので、賛成します。

願号 請第10号 討論

義務教育費国費負担制度の堅持 国における2022年度教育予算拡充

【賛成討論・鈴木ひとみ議員】

全ての子どもたちは平等に教育を受ける権利があり、その機会を与えているのが義務教育制度です。そのために必要な予算を国が充当するのは当然であり、国が地方に交付税を与えるのではなく国が責任を持って子どもたちを育てていくべきと考えるので、賛成します。

感染症生活困窮者自立支援金の支給が決定したことに伴い、歳入歳出予算の補正として、歳入歳出それぞれ896万9千円を追加し、総額219億9千717万3千円としようとするものです。

◇議案第43号 人権擁護委員候補者の推薦について

人権擁護委員として引き続き高山学さんを適任と考え、法務大臣に推薦しようとするものです。

一般質問

一般質問は、市政について、本会議の場で、市に対し議員が質問を行うものです。

LGBT等への理解

パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度の導入を



議員 孝夫 瀬能
3期目・63歳・佐野
公明党
建設経済委員会委員長

問 パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度の導入について伺います。

答 LGBT等の性的マイノリティの方々にとって、行政がその関係性を尊重するパートナーシップ制度や、そのお子さんも含めたファミリーシップ制度は、多様な性の在り方を認める社会の実現のために、意義あるものと考えます。現在は自治体ごとに独立した制度であるため、導入自治体から導入されていない自治体に転出した場合に、認められていた関係性が継続されないなどの課題もあることから、将来的には

広域的な制度としての必要性も感じています。

館山市では、LGBT等の方々に対する多様性を認め、受け入れることができる意識づくりを推進しています。加えて、今年度からの第4次館山市総合計画後期基本計画においても「積極的な意識啓発に努める」としています。今後も両制度の調査研究を続けながら、理解を深めるための啓発活動に取り組んでいきます。

解説 性的マイノリティ（少数者）への理解を促進させるためには、行政が明確な意思を「宣言」することが、第一に必須の条件であると考えます。現在取り組まれている多様性を認め合う意識啓発への諸活動についても、優先施策を過たず選択することによって、より合理的かつ

実質的な成果に繋がります。また、国、県、広域等での足並みが揃うのを待つのではなく、意識の高い自治体から率先して導入していくことが、国レベルでの制度導入への機運もより早く醸成されるものと感じています。多くのLGBTの方々が無理解から被る苦痛を経験されて

いることから、早急に制度の確立を決断すべきです。令和3年4月1日時点で、人口のカバー率でみると、全国で約4割弱の自治体がパートナーシップ制度を導入している状況にあり、本市もファミリーシップ制度も含め、導入を「宣言」する賢明な判断を期待します。

粗大ごみ処理施設

粗大ごみ処理施設 他市町が納得のいく結論を



議員 祐三 榎本
5期目・75歳・笠名
たてやま21・緑風会
総務委員会委員長

問 安房郡市広域市町村圏事務組合から、館山市が運転業務委託を受けている粗大ごみ処理施設は、竣工後35年が経過しており老朽化が著しいため館山市に無償譲渡の協議がなされていますがどのようになっていますか。

答 令和3年1月4日にプロジェクトチームを設置し、近隣市町の処理場や民間の先

進的な処理場の視察をはじめ、廃棄物処理の専門家を迎えた研修会や市内の廃棄物処理業者へのヒアリングを重ねるなどの検討を行っており、最終的な事業提案を6月中に予定しています。

解説 粗大ごみ処理施設については、安房郡市広域市町村圏事務組合の施設と言っても、98%が館山市のごみで2%が鴨川市のごみとなっています。また、運営費には当該事務組合の資金が3分の1ほど入っており、広域の他市町が納得のいく結論を出すよう要望しました。

市庁舎の現況と建設計画

問 市庁舎の耐震改修は9年前に実施しましたが、建設後約60年が経過しており、災害応急対策活動に対応できませんか。また老朽化による給排水関係の配管の劣化が予想されるが問題はないでしょうか。さらに市庁舎の建設計画はどのようになっているか伺います。

答 耐震改修工事で20年程度の使用を前提とした耐震化を行っており、災害応急対策活動に対応できると考えています。老朽化による給排水関係の配管についても、耐震改修の際に不備なものは改修しており、問題はないと考えています。また、庁舎の建設計画については、その時の状況やニーズを見極める必要があることから、現在は実施しておりません。

解説 市庁舎の現状を質して機能を確認しました。安房合同庁舎の建て替えが県の6月議会で承認されれば基本設計などに着手し、令和8年度に完成することです。ですので、館山市もこれに呼応して庁舎建設の調査、検討を進めることを要望しました。

住民福祉の向上

徴収のあり方について
住民福祉の向上を



石井 敏宏議員
3期目・49歳・上真倉
たてやま21・緑風会
文教民生委員会委員

問 回収不可能なくらい生活困窮しているならば、滋賀県野洲市が行っているように納税相談に加え、生活再建のための相談を実施し、生活保護など福祉手続きの案内を行ったり、多重債務の解消のための法的アドバイスを行い、地方自治の目的である「住民福祉の向上」を図るべきではないでしょうか。

答 納税相談の場合、自立支援への初動機能の一端を担うため、生活保護担当課や介護保険担当課との庁内連携、あるいは生活困窮者自立支援相談窓口となる社会福祉協議会など、関係機関等との連携を図っています。また、多重債務の解消などについては、千葉司法書士会主催による法律相談や国の多重債務専門相談窓口を案内しています。



問 国民健康保険税の滞納に関してですが、払えるのに払わない人には差し押さえを進めるべきです。しかし、払えないくらい生活困窮している人には、保険証が資格証明書になることで患者の医療費が全額自費になることは回避すべきではないでしょうか。資格証明書の発行をゼロにし、保険証がない事態をなくすべきではないでしょうか。

答 支払能力がありながら納税しない滞納者に対しては差押えを中心とした滞納処分を行っています。また、被保険者資格証明書の発行については、納期内納付をし

ている納税者との公平性を考慮すれば、必要と考えています。館山市では、夜間納税相談窓口を開設するなど、生活困窮者に対しては、納税相談を行い、現在の生活や健康状態などを把握し、今後の納付計画を立てた上で、被保険者資格証明書から3か月の期限付被保険者証への切替えを行っています。

不妊や妊娠期、子育て期への対応
気軽に相談できる環境づくりを

問 不妊に悩んでいる方への現在行っている支援について伺います。

佐野 聖一議員
1期目・46歳・波左間
市民クラブ
総務委員会副委員長



不妊等
支援

答 「館山市がん・生殖医療治療費助成事業」を行っています。

問 子育て世代包括支援センター「たてっ子」の現況について伺います。

答 10月からの半年間の「たてっ子」の対応状況は、母子健康手帳交付時の妊婦面談を124名に実施しており、状況により地区担当保健師が、電話・面接・訪問等による対応を随時行っています。

解説 不妊や妊娠期から子育て期での悩み、不安を抱えている方が気軽に相談できる環境づくりが大切だと思います。

また、正しい知識の周知に関して当事者だけではなく、より多くの方に知ってもらおう事で相談しやすい環境になっていくと思います。より良い環境づくりを要望しました。

運用する部署を定めていく考えです。

AEDの使用方法に係る職員への講習についてですが、人命救助が必要になった場合などに、職員が先頭に立って救命活動に従事できるように、また救命技能を維持向上させるためにも2〜3年おきの反復講習も重要であることから、全職員を対象にした普通救命講習を開催したいと考えています。

解説 危機管理部が創設され、一括して管理していくという事です。一括管理することで財政負担の軽減や、維持管理しやすくなると思います。また、いざという時に操作できなければ意味がありません。講習会の定期的な開催を要望しました。



自主防災組織

令和元年房総半島台風に関する災害対応の検証
避難所単位の自主防災会の編成を



長谷川 秀徳議員
1期目・59歳・船形
たてやま21・緑風会
建設経済委員会副委員長

問 情報の収集・伝達について、各町内会や自主防災組織の活性化を図るとの事ですが、どのような事を具体的にを行うのでしょうか。また、災害弱者支援について、民生委員・地区役員・コミュニティ委員などの関係機関の連携を図る体制強化を求められています。どのような体制にすれば良いか伺います。

答 情報の収集については、被害状況確認用の統一書式を各町内会等に配付し、情報を提供してもらいます。情報の伝達については、各町内会等の名簿を活用し、書面や電話を用いて行い、SNSも情報の収集・伝達に活用していく予定です。また、自主防災組織が行う防災訓練への館山市職員の参加や、防



考えます。防災訓練の実施は、災害の記憶を忘れない事や、実際に動く事で覚える大切な訓練だと思えます。避難所には、エアベット・パーター

ションなどの新たに準備した備品もあり、防災訓練でこうした備品を手にとって使う事も大切な事です。市民の皆さんには、防災訓練への参加をお願いします。

コロナ禍
経済対策

コロナ禍における経済対策
攻めの姿勢で対策を



秋山 光章議員
5期目・74歳・大井
市民クラブ
建設経済委員会委員

問 館山市と財政力・立地・人口等同じ様な自治体で、コロナ禍で多彩な街おこし策を講じていますが、館山市はどのような経済対策を

漁業面では地域の豊富な食材を活用し、食のまちづくりやジビエのブランド化を進めるほか、コロナ禍で落ち込んだ観光需要の早期回復を図る為、サイクルツーリズムをはじめとした観光振興施策や着地型バスツアーの造成等の取組を支援します。また、ワーケーションを推進するための施策に取り組み来訪者の増加を図ります。

答 令和2年の県内の休業業解散件数は1千662件で、前年比12・3%と増加しています。また、令和2年度の安房管内の雇用保険資格喪失者は3千743人と令和元年度と比較すると9・9%減少しています。今後の館山市の経済対策としては、農

解説 館山市はNHKをはじめメディアが注目しているので、攻めの姿勢で頑張るよう要望しました。

道路行政

解説 食のまちづくり拠点が館山市稲地区に計画されており、国土交通省の「道の

駅」に指定されるようですが、大型車が走行するには道路が狭いのではないかと思います。用地買収は素人では大変で、専門的な税知識や人間関係が必要なので2年位の職員の配置転換ではなく、専門の職員を育てるよう要望しました。また、県道南安房公園線に自転車歩行者道路を設置できないか聞いたところ、県道として指定されているので難しいとの回答がありました。

館山市民は安房3市1町の中で唯一都市計画税と固定資産税を納めており、海岸道路や船形バイパス・下水道等街中では恩恵を受けていますが、街中以外は恩恵を受けていないので、消防自動車や救急車の入らない市道は率先して改良するよう要望しました。

また、館山市には遊休財産の里山等が沢山あるのに利用されていません。多くの自治体が活用し力を入れて潤っているのに館山市では手つかずなので、工業団地用地、稲村城跡、食のまちづくり拠点の三角構想が活気づけば必ず素晴らしい館山市になるので頑張ろうと要望しました。

観光推進施策と地域経営

広域DMO（観光地域づくり法人）を目指せ

広域DMO



室 厚美議員

2期目・56歳・波左間
新しい風の会
建設経済委員会委員

問 観光地域づくり法人（DMO）の必要性について市の考えを伺います。

答 観光地域づくり法人は、地域の観光関連事業者などやる気のある事業者が主体的に参画した上で設立されることが望ましいと考えており、館山市としてはこれらの事業者を支援していきたいと考えています。

解説 少子高齢化の進展で市の経済が疲弊している中、市外から外貨を稼ぐことが必要で、関連する産業へのすそ野も広い観光産業の振興に力を入れることは、持続的

な地域経営のためにとっても重要です。国も、少子化による外貨獲得の重要性からDMOの組織化を推奨しています。

DMOは、民間が主体となる組織ではありますが、宿泊、飲食だけでなく交通事業者や金融、農漁業、体験等のサービス提供者、住民など地域の多様な関係者を巻き込むことが大切なことから、自治体がリードしたり、財政面で支えているところがほとんどです。また、市単独ではなく広域DMOを目指すのが理想的です。

議論の後に市長から「DMOの必要性は十分理解している」という回答を頂いたので、今後、幅広い関係者での協議が進んでいくことを期待しています。



問 生きていく上で欠かせないのが「食」であり、食は安定的に供給できる仕組み作りや地域の産業を活性化させる施策です。「食」の消費拡大と仕事の創出を図る「食のまちづくり」の推進による地域産業の活性化について伺います。

答 地域内の流通システムを構築し、地元食材の活用や新たな特産加工商品の開発・提供を支援するなど、多彩



鈴木 正一議員

4期目・70歳・神余
新政クラブ
文教民生委員会委員

「食」と「若者」

後期基本計画「食の豊かさ」と「若者の元気」アッププラン 計画通りの推進を

問 市職員の人材育成の課題について伺います。

答 現状の課題としては、全庁的に業務量に対して職員数が不足していることや、年齢構成がアンバランスになっていることが挙げられます。

職場内に余裕がなくなることは、職員の成長意欲やモチベーションの低下につながるかねないため、事務事業の見直し、効率的な業務運営、的確な組織マネジメントなどを進め、人材育成の好循環につなげていきたいと考えています。

問 将来を担う「若者」がやりがいのある仕事に就き、安心して暮らしやすい環境を整えるために必要な今後の取組について伺います。

答 まちなかの空き店舗や

空き家などの遊休不動産について、起業・創業意欲のある人材が新しい使い方により活用を図ることで「まちを再生する」リノベーションまちづくり事業を官民一体となつて取り組むとともに、都心部からの近接性と豊かな自然、1年を通じて収穫される豊かな農水産物に加え、多様なアクティビティが体験できる環境を活かし、仕事と余暇を両立させながら働くワーケーションの拠点施設整備等を進めていきます。

解説 『後期基本計画』の重点プランとして位置づけた「食」と「若者」アッププランの各取組を計画的に進めていくことが大切です。



海の魅力アップ

海岸漂着物対策
美しい海を残すため積極的な取組を



鈴木 ひとみ議員
1期目・62歳・佐野
新政クラブ
総務委員会委員



問 海岸漂着物等の対策促進について館山市の取組、千葉県との連携、環境省の「海岸漂着物等地域対策推進事業」の活用について伺います。
答 市では年間5名の職員で重機等を使った清掃作業を行っています。また、海岸清掃を行うボランティアへボランティア袋の配布、ごみの回収など積極的に協力しているほか、海岸管理者である県と連携し、互いの作業が重複しないように調整を行っています。

います。環境省の事業については千葉県や、他の市町村から情報を収集して、活用を検討したいと考えています。
解説 長い海岸線を有し、海からの恩恵を享受している市として、他の市町や県にも働きかけながら、今後さらには海の魅力に磨きをかけ、次の世代に美しい海を残すために積極的に取り組んで欲しいと考えます。

ひきこもり対策

問 ひきこもり家庭への相談窓口、今後の支援の方針について伺います。
答 現在、館山市では、ひきこもり支援に特化した専門的な相談窓口は設けていませんが、高齢、障害、子どもに関する様々な相談を各担当窓口において受けており、関係部署が連携を図りながら支援策を検討し、対応しているところです。

また、令和3年度より、相談支援体制の強化を目的とした、包括的相談支援事業を館山市社会福祉協議会

へ委託し、民生委員などを通じて、各地域の状況について幅広く情報収集を行い、潜在的な課題を抱えている相談者を見付け、支援を届けたいと考えています。
解説 ひきこもりは大きな社会問題なっており、特に親が高齢化した、8050問題は深刻です。ひきこもりを抱える家庭が、自らの努力だけで解決することは困難な

場合が多く、適切な支援が必要で、す。けれども、課題を抱えた家庭に対する相談窓口がわかりにくいのが現状です。相談しやすい環境作り、継続的な支援体制が望まれます。また、繊細で難しく、長期に渡る粘り強い支援を必要とする事例が多いので、専門的なスキルを持った支援スタッフの育成が必要だと考えます。

校編学再

学校再編・館山中の統合
課題を整理し今後に向けた準備を



森 正一議員
3期目・54歳・八幡
たてやま21・緑風会
文教民生委員会委員

問 今後の小中学校等の統合を踏まえ、一中和三中の統合の総括をすべきではないでしょうか。
答 旧三中の耐震不足による学校統合と今後の児童生徒の減少による学校再編は性質が異なりますが、市民や保護者への説明時期や方法、再編後の学校周辺の環

境整備や学校運営におけるソフト面の対策など、今回の課題点を次に活かしていきたいと考えています。
解説 二中和三中の統合は生徒や教職員の安全確保のための緊急的な措置であったとは言え、統合はデリケートな問題であるため、保護者や地域にお住まいの方から厳しい意見が噴出しました。今後、児童生徒数の減少による統合が避けられない状況であり、今回の課題などを整理し、円滑に統合を進められるように準備すべきです。

新型コロナ対策及び関連施策

問 集団接種・個別接種の予約状況を伺います。
答 6月14日時点で集団接種を予約した館山市民は約2千600人、医療機関における個別接種については安房3市1町で約2万3千600人であり、安房地域の65歳以上の方の約74%が予約しています。

問 予約方法を改善するべきではないでしょうか。
答 インターネットが使えない、電話が通じないなどの意見が多かったため、予約方法の改善を安房医師会と安房3市1町で検討しています。

解説 安房医師会と安房3市1町が連携・協力し、6月14日時点での65歳以上の方の予約は約74%まで進みましたが、7月中に高齢者のワクチン接種を終えることは困難な状況にあります。各医療機関の更なるご尽力により接種スピードを上げること、7月中に65歳以上の方の接種を終え、引き続き64歳以下の接種を一日も早く開始できるように要望しました。

全国市議会議長会

鈴木順子議員 30年勤続特別表彰

石井敬之議長、望月昇副議長、太田浩議員、森正一議員、石井敏宏議員 10年勤続表彰



鈴木順子議員が、議員在職30年の永年勤続で全国市議会議長会から特別表彰を受け、6月10日の本会議において、石井敬之議長から表彰状が伝達されました。

また、石井敬之議長、望月昇副議長、太田浩議員、森正一議員、石井敏宏議員が、議員在職10年の永年勤続で全国市議会議長会から一般表彰を受け、同本会議において、石井敬之議長には石井信重前議長から、望月昇副議長、太田浩議員、森正一議員、石井敏宏議員には石井敬之議長から表彰状が伝達されました。



未来に残したい館山の風景 表紙写真を募集しています！

※応募方法※

作品に撮影者の住所、氏名、電話番号、撮影場所・撮影年月日、作品名とその説明を添えて、画像データを直接、郵送（CD等に保存）、または電子メール（受信の都合上、1～3MB）で館山市議会事務局へお送りください。詳しくは、「市議会HP」をご覧ください。

議会報告会

今後開催の判断をしてまいります

例年、秋に実施している議会報告会は、新型コロナウイルス感染拡大の状況が不透明なため、今後の感染状況を踏まえて開催の判断をしてまいります。



9月定例会の日程（予定）

- 開会日：9月1日（水）午前10時～
- 一般質問：9月7日（火）午前10時～
- 9月8日（水）午前10時～
- （予備日）：9月9日（木）午前10時～

YouTube 市議会を動画配信



本会議の様子をYouTube（ユーチューブ）で配信しています。
自宅のパソコンやスマートフォンなどから生中継（ライブ動画）や録画（生中継終了後2日程度後からおおむね2か月間）で視聴できます。

編集後記

6月議会は行政一般通告質問の質問時間が1時間、議案審議は30分で行いました。一日も早く、平常の議会運営が行えるよう願っています。
今回の議会だよりの表紙には、市民から寄せられた「仲良しのお友達と花火大会」という作品を掲載いたしました。子供たちが楽しめる、写真のような日常が送れるよう願うばかりです。
暑い季節を迎える今、新型コロナウイルススワクチン接種が始まりましたが、国からのワクチン供給量が減少し、当初の接種予定が遅れる現状となりました。皆さん、引き続き新型コロナウイルスに感染しないよう予防に努めてまいりましょう。
暑い夏を乗り切るために、熱中症にならないよう水分補給を十分行いながら、健康に留意されますようお願いいたします。（鈴木順子）

【議会報編集委員会】

- 委員長 太田 浩
- 委員 鈴木 順子
- 副委員長 榎本 祐三
- 委員 瀬能 孝夫

※議会や議会だよりに関するご意見、ご質問は議会事務局まで電話またはメール（番号及びアドレスは下記参照）でご連絡ください。

